

土木学会 複合構造委員会 第4回幹事会 議事録

1. 日 時：平成 17 年 10 月 13 日(木) 14:00 ~ 17:30

2. 場 所：土木学会 2 階 会議室 C

3. 出席者

上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，伊藤幹事，大山幹事，杉浦幹事，武知幹事，
中村幹事，本間幹事，山口幹事，横田幹事，渡辺幹事，川島事務局，古市（敬称略，計 14 名）

4. 配布資料

資料 幹 4-1	第 3 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料 幹 4-2	資料 幹事会作業分担（案）
資料 幹 4-3	新設小委員会委員公募結果
資料 幹 4-4	「複合構造物の性能証左指針小委員会」活動計画(組織)
資料 幹 4-5	「複合構造物の現状調査小委員会」活動計画(組織)
資料 幹 4-6	「維持管理小委員会」活動計画(組織)
資料 幹 4-7	(欠)「新材料による複合技術研究小委員会」活動計画(組織)
資料 幹 4-8	第 6 回複合構造シンポジウム
資料 幹 4-9	複合構造物の性能照査例の出版と講習会について
資料 幹 4-10	複合構造物の性能照査指針（英文）出版について
資料 幹 4-11	複合構造委員会 HP について
資料 幹 4-12	建築学会との情報交換交流について
資料 幹 4-13	平成 16 年度 複合構造(合成構造連合小)委員会活動調査
資料 幹 4-14	平成 17 年度 複合構造委員会活動調査 事業計画・予算・自己評価

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶

上田委員長より挨拶があった。

(2) 第 3 回幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 4-1)

武知幹事より，第 3 回幹事会の議事録(案)の確認がなされ，以下の点についての修正があった。

- ・『複合構造の現状調査小委員会』では，
“ 住み分けを検討中である ” “ 取扱い範囲を検討中である ” に修正する。
- ・『維持管理小委員会』では，
“ 小委員会の幹事会に参加してもらいたい人に参加依頼を出している。 ” を削除する。
- ・『新材料による複合技術小委員会』では，
“ 幹事長は，(株)神戸製鋼所の中川知和氏に依頼した。 ” を削除する。

(3) 幹事会 業務分担について (資料 幹 4-2)

大垣幹事長より，幹事会業務分担について説明がなされ，以下のことが決められた。

- ・ 表中の伊藤幹事，本間幹事の所属を修正する。

- ・ ISO 関連の委員会への参加要請が杉山本先生よりあったが、内容を確認の上選定する。

(4) 新設小委員会委員公募状況について (資料 幹 4-3)

9 月末しめきりの委員公募の結果、本日までに現状調査は 7 名、維持管理は 5 名、新材料は 2 名の応募があった。

- ・ 様子伺いの会社もあるので、申込み期限を 10 月末日まで延長する。
- ・ ~~特に不適切な人材が認められなければ、委員として参加してもらうことを確認。~~

- ・ 各小委員会にて判断し、幹事会で確認する。

(5) 小委員会の活動について (資料 幹 4-4 ~ 4-6)

『複合構造物の性能照査指針小委員会』

中村幹事より、資料 幹 4-4 をもとに報告がなされた。

- ・ 明日 10/14 に第二回の小委員会を開催し方向性を確認する予定。
- ・ 現状は 19 名のメンバーである。

土木学会内での性能照査の整合性について議論された。

- ・ 大枠を取り決めることは重要であり、本委員会から働きかけをする。
- ・ まずは、関連の深い委員会のキーマンに、上田委員長と中村幹事の連名で呼びかけを行う。
例えば、鋼構造委員会；依田先生、市川氏、構造工学委員会；石橋氏、古田先生、六郷先生
コンクリート委員会；丸山先生、横田氏、
複合構造委員会の担当は、中島副委員長、中村幹事、渡辺幹事とする。

複合に関する各指針の一本化について議論された。

- ・ 指針ごとに異なる内容になることは避けなければならない。
- ・ コンクリート委員会には委員の派遣をお願いして、統一する方向で検討をすすめる。
- ・ 鋼構造委員会では合成桁は重要な対象構造であるため、情報交換をしていく必要がある。
- ・ 最終的に、同じ内容であれば、双方の指針に記載があることは問題ない。

『複合構造の現状調査小委員会』

伊藤幹事より小委員会の活動について資料 幹 4-5 をもとに報告がなされた。

- ・ 先週幹事会を開催した。
- ・ メンバーは公募も含めて揃いつつある。
- ・ 学の幹事を中部地域から選出する方向で調整中。
- ・ 一年間で資料集め、二年目に執筆の予定。

『維持管理小委員会』

杉浦幹事より小委員会の活動に資料 幹 4-6 をもとに報告がなされた。

- ・ 現在、メンバーの調整中である。

『新材料による複合技術小委員会』

上田委員長より小委員会の活動について説明がなされた。

- ・ メンバーは調整中で、適任者がいれば推薦して欲しいとの要請があった。
- ・ 中川氏には再度、大垣幹事長から働きかけをする。
- ・ 山口幹事には、小委員会幹事をお願いする。

(6) 第 6 回 複合構造の活用に関するシンポジウム企画について (資料 幹 4-8)

古市より、第 6 回 複合構造の活用に関するシンポジウムの企画について報告がなされた。

- ・ 最終プログラムを作成したのでご確認いただきたい。
- ・ 特別講演は保坂氏と龍岡先生に決まり、投稿いただいた。
- ・ 1 件のみ投稿断念があり欠番となった。
- ・ 2 日目第一セッションの座長については上田委員長にお引受けいただいた。
- ・ パネル展示については、現在 10 件であり、10/26 までの追加募集の様子を見る。
- ・ 複合構造委員会のパネルは 3 枚とし、1 枚目は委員会全体の説明、2 枚目、3 枚目は各小委員会の説明に半分ずつのスペースをあてる。
- ・ 10 月末までに書く小委員会はパネル原稿をシンポジウム WG に提出する。
- ・ 全体については大垣幹事長が担当する。
- ・ シンポジウムの収支予測は、およそ 6 万円の黒字と想定している。
- ・ 委員への論文 CD の寄贈は現時点では考えない。
- ・ 委員には是非、参加していただく。
- ・ 参加費用については、特別講演者からは徴収せず、その旨事前にプログラムとともにお知らせする。
- ・ 欠番に対応してスケジュール案の時間を調整する。

(8) 複合構造物の性能照査例の出版と講習会について (資料 幹 4-9)

渡辺幹事より、複合構造物の性能照査例について報告がなされた。

- ・ 収支については、テキスト買取代のウエイトが大きい。
- ・ 出版物の寄贈者の要件について明確な方針が必要。
- ・ まずは、各々のケースごとにどの程度の数量になるかの~~め~~を拾い上げる。
- ・ 複合構造委員会としての出版物なので、上田委員長の巻頭言と、本委員会名簿を掲載する。
- ・ 巻頭言については、10 月中に渡辺幹事に提出する。
- ・ タイトル、デザインを含めて表紙の案を渡辺幹事と業者にて作成しメール審議をする。
- ・ シンポジウムの時には、表紙と目次を展示し、開会、閉会時にアナウンスもする。
- ・ 会告のタイトルを校正時に「・・・に基づく~~照査設計~~例についての講習会」に修正する

(9) 複合構造物の性能照査例 (英文) 出版について (資料 幹 4-10)

横田幹事より、複合構造物の性能照査例 (英文) 出版について報告がなされた。

- ・ 06 年 1 月末の上記講習会の時点では販売できるようにする。
- ・ 表紙については、上記の性能照査例の表紙デザインを踏襲する。

(10) 複合構造委員会ホームページについて (資料 幹 4-11)

山口幹事より、ホームページについて説明がなされた。

- ・ 各~~小~~章委員会から一人ずつ委員を選出してもらい、ワーキングを構成する。
- ・ 専門用語の検索については、英文化分科会で作成したリストをアレンジして掲載する。
- ・ リンクについては現時点では未定。

(11) 建築学会との情報交換交流について (資料 幹 4-12)

大垣幹事長より、建築学会との情報交換交流について説明がなされた。

- ・ 建築学会の鋼・コンクリート複合構造委員会と明日、初会合を行う。
- ・ 委員の相互派遣、HP の相互リンク、シンポジウムの合同開催などを議題にする。

(12) 本委員会の活動について (資料 幹 4-13 ~ 3-14)

大垣幹事長より、以下の説明がなされた。

- ・ 予算については、増額して申請する。
- ・ 照査例の講習会の開催地は札幌、大阪、福岡とし、基本的に本部開催とする。
- ・ 支部主催の講習会では、参加人数が委員会の活動として勘定されない。
- ・ 小委員会の下部組織である WG の会合では、活動評価として勘定されない。
- ・ 評価項目 に対する評価は、主として学会のアクションプラン 2005 に沿っているかどうかで判断される。
- ・ 土木学会全体で、論文集という呼称を使う際の条件づくり（査読に対する条件など）が進められている。

— 照査例の講習会の開催地は札幌、大阪、福岡とし、基本的に本部開催とする。

関連して、以下のことが議論された。

支部主催の講習会では、参加人数が委員会の活動として勘定されない。

小委員会の下部組織である WG の会合では、活動評価として勘定されない。

評価項目 に対する評価は、主として学会のアクションプラン 2005 に沿っているかどうかで判断される。

土木学会全体で、論文集という呼称を使う際の条件づくり（査読に対する条件など）が進められている。

(13) 第 5 回幹事会開催日時について

- ・ 日 時：平成 17 年 12 月 14 日(水) 14:00～17:00
- ・ 場 所：土木学会

以 上 （記録・文責：古市耕輔）